

令和3年度 事業報告書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

学校法人 尚美学園

目 次

	頁
I 法人の概況	
1. 設置する学校・学部・学科等	1-2
2. 役員の概要	3
3. 教職員の概況	4
4. 学校法人の沿革	5
II 尚美学園大学 事業報告	
1. 事業の概要	6-7
2. 学生諸活動報告	7-10
3. 予算執行の概要	11
III 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告	
1. 事業の概要	12-13
2. 学生諸活動報告	13-16
3. 予算執行の概要	17
IV 財務の状況	
1. 決算の概要	
(1) 資金収支計算書	18-19
(2) 活動区分資金収支計算書	20
(3) 事業活動収支計算書	20-21
(4) 貸借対照表	22
(5) 財産目録	23
(6) 監査報告書	24

I 法人の概況

1. 設置する学校・学部・学科等

(令和3年5月1日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等		入学 定員	収容 定員	学生数				
						1年	2年			
尚 美 学 園 大 学	埼玉県川越市 豊田町 1-1-1 (049-246-2700)	修士	総合政策研究科	政策行政専攻	10人	20人	1年	9人		
							2年	8人		
							計	17人		
			芸術情報研究科	情報表現専攻	10人	20人	1年	15人		
							2年	12人		
							計	27人		
		音楽表現専攻	10人	20人	1年	7人				
					2年	5人				
					計	12人				
		小計		30人	60人	56人				
		学士	芸術情報学部	情報表現学科	190人	720人	1年	256人		
					編入学 10人		2年	258人		
				音楽表現学科	70人		380人	3年	252人	
					編入学 20人			4年	211人	
					音楽応用学科			70人	300人	計
			編入学 10人	1年		79人				
			舞台表現学科	70人	300人	2年	82人			
				編入学 10人		3年	86人			
			総合政策学科	100人		400人	4年	85人		
				ライマゼット学科			0人	320人	計	332人
			ｽｰﾊﾞﾈｯﾄ学部		ｽｰﾊﾞﾈｯﾄ学科		160人		320人	1年
				2年						89人
			小計		660人		2740人		3129人	
			合計		690人	2800人	3185人			

(令和3年5月1日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等	入学 定員	収容 定員	学生数		
					1年	2年	
尚美ミュージックカレッジ専門学校	東京都文京区 本郷4-15-9 (03-3814-8761)	音楽 専門課程	管弦打楽器学科	60人	140人	1年	35人
						2年	36人
						計	71人
			ジャズ・ポピュラー学科	30人	70人	1年	22人
						2年	21人
						計	43人
			ヴォーカル学科	50人	110人	1年	62人
						2年	39人
						計	101人
			プロミュージシャン学科	80人	180人	1年	87人
		2年				87人	
		計				174人	
		アレンジ・作曲学科	60人	140人	1年	91人	
					2年	80人	
					計	171人	
		ミュージカル学科	40人	80人	1年	18人	
					2年	26人	
					計	44人	
		ダンス学科	30人	70人	1年	25人	
					2年	19人	
計	44人						
声優学科	40人	100人	1年	17人			
			2年	28人			
			計	45人			
音響・映像・照明学科	100人	220人	1年	128人			
			2年	132人			
			計	260人			
ミュージックビジネス学科	80人	160人	1年	97人			
			2年	79人			
			計	176人			
音楽総合アカデミー学科	30人	190人	1年	24人			
			2年	23人			
			3年	44人			
			4年	44人			
			計	135人			
合 計			600人	1,460人	1,264人		

2. 役員概要

(1) 理事及び監事（理事の定員：9名、外部理事：うち4名）

(令和4年3月31日現在)

役職	氏名	担当職務	現職
理事長	久保 公人		大学学長
理事	山本 正壽	学校運営・事務担当	専門学校学校長
理事	辻 浩己	総務・財務担当	法人本部長
理事	柴崎 義之	学校運営・事務担当	大学事務局長
理事	有泉 智志	学校運営・事務担当	専門学校事務長
理事(外部)	東尾 公彦	学校運営担当	会社役員
理事(外部)	垂石 克哉	学校運営担当	会社役員
理事(外部)	原 哲男	渉外担当	弁護士
理事(外部)	山本 眞一	学校運営担当	筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授
監事	國友 孝信		
監事	竹田 剛志		税理士

(2) 評議員（定員：19名）

(令和4年3月31日現在)

役職	氏名	現職
評議員	久保 公人	法人職員
評議員	山本 正壽	法人職員
評議員	辻 浩己	法人職員
評議員	柴崎 義之	法人職員
評議員	有泉 智志	法人職員
評議員	石津 直子	法人職員
評議員	稲見 英夫	法人職員
評議員	井上 仁司	法人職員
評議員	恩田 憲一	法人職員
評議員	河村 智昭	法人職員
評議員	小泉 昌幸	法人職員
評議員	櫻井 準也	法人職員
評議員	山崎 岩男	法人職員
評議員	佐藤日呂志	卒業生
評議員	近藤 剛志	卒業生
評議員	小山内 仁	卒業生
評議員	友添 秀則	学識経験者
評議員	白川 敬裕	学識経験者
評議員	松野 玲	学識経験者

3. 教職員の概況

教職員数(人)

(令和3年5月1日現在)

区 分	大 学		専門学校		計
	教員	職員	教員	職員	
本 務	81	74	34	64	253
兼 務	255	0	301	4	560
合計人数	336	74	335	68	813

4. 学校法人の沿革

- 1926 (大正 15) 年 音楽家赤松直氏 私塾「尚美音楽院」を開設
- 1954 (昭和 29) 年 音大受験科開設
- 1959 (昭和 34) 年 尚美高等音楽学園各種学校許可受領
- 1967 (昭和 42) 年 学校法人尚美高等音楽学園として認可
- 1972 (昭和 47) 年 学校法人尚美学園尚美高等音楽学院に改称
- 1974 (昭和 49) 年 財団法人音楽教育研究所が本学園に移管
- 1976 (昭和 51) 年 専修学校制度の発足に基づき、尚美高等音楽学院、専門学校認可
ディプロマコース開設
- 1981 (昭和 56) 年 尚美音楽短期大学開学 (音楽学科・音楽情報学科)
- 1983 (昭和 58) 年 尚美高等音楽学院に音楽音響マスコミ専門課程設置
財団法人日本音楽教育文化振興会設立 (財団法人音楽教育研究所を改組)
- 1984 (昭和 59) 年 東京音楽音響マスコミ専門学院を設置
- 1985 (昭和 60) 年 尚美高等音楽学院を「東京コンセルヴァトアール尚美」に改称
東京音楽音響マスコミ専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学院」に改称
- 1986 (昭和 61) 年 尚美音楽短期大学を「尚美学園短期大学」に改称 (音楽ビジネス学科開設)
- 1989 (平成 1) 年 東京音楽音響ビジネス専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学校」に改称
- 1990 (平成 2) 年 尚美学園短期大学に情報コミュニケーション学科開設
皇太子殿下、尚美学園バリオホールに行啓、音楽会を鑑賞
- 1991 (平成 3) 年 東京コンセルヴァトアール尚美と東京音楽音響ビジネス専門学校を統合
- 1998 (平成 10) 年 東京コンセルヴァトアール尚美を「専門学校東京ミュージックアンドメディア
アーツ尚美」に改称
- 2000 (平成 12) 年 尚美学園大学を開学 (総合政策学部・芸術情報学部)
アメリカ・南カリフォルニア大学 (USC) シネマ・テレビジョン学部と提携
フジテレビジョンフォーラムにて SHOBI&USC 提携記念「国際映画放送カ
ンファレンス 2000」を開催
- 2003 (平成 15) 年 専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美 新本館完成
- 2004 (平成 16) 年 尚美学園大学大学院総合政策研究科 開設
- 2006 (平成 18) 年 尚美学園大学大学院芸術情報研究科 開設
- 2007 (平成 19) 年 尚美学園大学総合政策学部ライフマネジメント学科 開設
- 2010 (平成 22) 年 専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美を「尚美ミュージックカ
レッジ専門学校」に改称
- 2013 (平成 25) 年 尚美学園大学上福岡キャンパスを川越キャンパスに統合
- 2015 (平成 27) 年 尚美学園大学芸術情報学部音楽応用学科・舞台表現学科 開設
- 2020 (令和 2) 年 尚美学園大学スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科 開設

II 尚美学園大学 事業報告

1. 当年度の事業の概要

はじめに

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を最優先課題とし、学生が納得できる質の高い教育体制の確保、教育環境整備、学生諸活動支援体制の推進に取り組んだ。

入学式では令和3年度新入生とやむを得ず中止となった令和2年度新入生の入学式を4月に一緒に挙行した。その様子が各新聞社からも情報配信され、学生、保護者等からは多くの感謝の言葉が寄せられ、大学の取り組みとしての評価を得ることができた。

授業に関しては、対面授業とオンライン授業を併用し、状況に応じて柔軟に授業方法を選択できるよう展開した。

オンライン授業を家庭で受けるための学修環境整備費として新入生に対し支援金の給付を行うとともに、大学内でオンライン授業を受けられる様に通信環境やメディアセンター等施設の整備と強化に取り組んだ。

学生・教職員の健康と安全を確保すべく、入構にあたっての検温対応、消毒や飛沫防止アクリル板の設置、ウイルス不活性化装置の導入、新型コロナワクチン大学拠点接種を実施するなど万全の感染拡大防止対策を講じながら、学生にできるだけ満足のいく授業等を提供できるよう、大学全体としての意思決定を迅速に行い、日々刻々変化する状況に速やかに対応した1年であった。

(1) 学生募集状況

令和3年4月の入学者状況については、定員の1.20倍の入学者を確保した。学部・学科別では、昨年度開設したスポーツマネジメント学部と芸術情報学部情報表現学科で多くの志願者を集めて、学部別でも全学部で定員を確保することができた。学科別では芸術情報学部舞台表現学科を除く他の5学科とも定員を上回る入学者を確保している。

昨年度からの新型コロナウイルスの影響は続いているが、オンラインオープンキャンパス、個別相談など、オンライン対応で大学紹介の機会を維持しつつ、対面の実施においても大学や学部の魅力が伝わるよう音楽表現学科ではワンポイントレッスン、舞台表現学科ではワークショップを実施するなど、イベント内容の充実を図った。高校訪問やガイダンスなどの対面でのアプローチを積極的に実施した上で、資料請求者に対し直接の電話掛けを行い、大学紹介やオープンキャンパス動員に取り組んだ。その結果、受験対象となる3年生以上のオープンキャンパス参加者は前年比124.9%であった。

入学者選抜試験においては、受験システムのWeb化を実施した。これにより、受験しやすい入試の実施や入試手続きの合理化、並びに入試業務と入試運営の改善と向上が図られた。

(2) 連携について

①平成29年に提携合意したアメリカ・ポートランド州立大学（略称PSU）との提携期間が5年を終えることにより、合意書に基づく提携更新を行った。同大学へは例年実施する海外短期語学研修の研修先となっている。令和3年度の研修はオンライン型となり学生は自宅から参加した。

②川越地域における開かれた大学として、川越市や近隣のふじみ野市との提携、各協議会・運営委員会への積極的な参加を推進し、小学校、中学校などの教育機関とも交流を深め、地域社会の発展や人材育成の貢献に取り組んでいる。

令和3年度提携・委託先一覧（川越市・ふじみ野市）

ア. 川越市政策企画課「川越市市制施行100周年会議委員」

イ. 川越市オリンピック大会室「支援委員会委員」

ウ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越市文化芸術振興計画審議会委員」

エ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越マラソン実行委員会委員」

オ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越市生涯学習基本計画審議会委員」

カ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「大学間連携講座」

キ. 川越市文化スポーツ部国際文化交流課「川越市国際交流センター受付業務」

ク. 川越市総合政策部地域創生課「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員」

- ケ. 川越市総合政策部行政改革推進課「川越市公の施設指定管理者選定委員会委員」
- コ. 川越市総合政策部行政改革推進課「川越市外部評価人」
- サ. 川越市福祉部障害者福祉課「川越市障害者施策審議会委員」
- シ. 川越市教育委員会教育総務部教育総務課「川越市教育振興基本計画審議会委員」
- ス. 川越市教育委員会教育総務部教育総務課「活動点検評価懇話会委員」
- セ. 川越市中央公民館「川越市公民館運営審議会委員」
- ソ. 川越市立美術館「川越市立美術館協議会委員」
- タ. 川越市立大東東小学校「生活科:町たんけん学習」
- チ. ふじみ野市総合政策部経営戦略室「ふじみ野市行政評価外部評価委員会委員」
- ツ. 富士見市総合政策部契約監査課「富士見市入札監視委員会委員」
- テ. 富士見市総合政策部管財課「富士見市庁舎整備検討審議会委員」
- ト. 埼玉県立川越南高等学校「外国人留学生との交流会」

(3) 改革について

将来を見据えた財政体質の強化を図るためには、安定した入学者の確保と退学者を減らす取り組みが必須であり、そのためには魅力あるカリキュラムと時代に合った教育システムの再構築を具体的な形にすることが求められている。

その中で、教育の質向上を目的とした学生による授業評価を実施し、その結果をもとに教育実践に顕名な成果をあげた教員の功績を讃えて表彰するベストティーチャー賞制度を設けた他、研修により授業研究・改善、授業手法の見直しを図っている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの科目でオンライン授業を併用するなど、以前とは異なる授業形態、多様化への対応が求められており、新たなLMSの導入に向けた準備やネットワーク環境整備にも取り組んでいる。

(4) 退学者防止対策について

退学者の防止対策については大学全体で組織的に取り組んでいる。特に不安を覚えやすい1年生と例年退学者の比重が高い2年生に対し、アドバイザー指導、保護者への理解の取り組み、教職員による連携・協働により抑止を図っている。また、様々な支援が必要な学生と学納金未納者には、アシスト室が中心となり、学生、保護者、教員、関係部署との調整・連絡に取り組んでいる。今後は各学期に実施される2回のアドバイザー面接を通じた、きめこまかい指導と迅速かつ適切な対応を行い、その検証と更なる防止対策の強化を図る。

2. 学生諸活動について

(1) コンクール・オーディション合格・受賞歴

①第17回ACジャパン広告学生賞

【新聞広告部門】

奨励賞：情報表現学科4年 TONG JINGJING

【テレビCM部門】

奨励賞：情報表現学科4年 LE BICH PHUONG

②第105回記念二科展

入選／箱根彫刻の森美術館奨励賞：情報表現学科4年 齋藤 玲奈

入選：情報表現学科4年 北口 瑠々香

③第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）

【大学の部 創作コンクール部門】

入選：芸術情報学部舞台表現学科有志

④川越市「小江戸小紋デザイン選考会」

最優秀賞（商標登録手続中）：情報表現学科4年 小川 彩佳

⑤バンダイナムコスタジオ「2021年Summerサウンド編・サウンドMAチャレンジコンテスト！」

最優秀賞：音楽応用学科音楽メディアアコース3年 RUKMARYO FIRMAN HARBANI

⑥埼玉県鶴ヶ島ロータリークラブ主催 第一回米山記念奨学生スピーチコンテスト

会長賞：総合政策学科4年 TAY QING

(2) 指定サークル

①剣道部

- ・第69回全日本学生剣道選手権大会 出場
総合政策学科4年 川原 誠 ライフマネジメント学科3年 阿部 志音
- ・第49回埼玉学生剣道新人戦大会 個人戦 第3位
総合政策学科2年 飯田 匠
- ・第47回埼玉女子学生剣道選手権大会 個人戦 優勝
総合政策学科2年 山之内 那南
- ・第22回関東女子学生剣道新人戦大会 敢闘賞(ベスト8)
総合政策学科2年 山之内 那南 他

②男子サッカー部

- ・彩の国カップ第26回埼玉県サッカー選手権大会 準優勝

③女子サッカー部

- ・第35回関東大学女子サッカーリーグ戦(2部) 第7位(10チーム中)
- ・第27回関東女子サッカーリーグ(2部) 第6位(8チーム中)

④女子硬式野球部

- ・第9回スイートデコレーションカップ女子硬式野球北海道大会 準優勝

⑤女子チアダンス部

- ・第21回全日本チアダンス選手権大会 決勝大会 チアダンス部門 大学生編成 第2位

⑥陸上競技部

- ・第32回関東学生新人陸上競技選手権大会 兼 関東学生リレー競技会
女子走り幅跳び 第2位: スポーツマネジメント学科1年 松森 玲奈
- ・第100回関東学生陸上競技対校選手権大会
走り高跳び 4位: スポーツマネジメント学科2年 下村 康喜
- ・第32回関東学生リレー競技会
4×100MR B決勝7位: ライフマネジメント学科3年 桑名 隆雅、同学科4年 田島 昇樹、
スポーツマネジメント学科1年 佐々木 悠、同学科1年 中澤 快斗

(3) 就職実績

①公務員

陸上自衛隊
航空自衛隊

②教員

川越市立公立小学校
川越市立寺尾中学校
根室市立海星中学校
日本ウェルネス高等学校
南部教育事務所
名古屋市立公立中学校
相模原市立公立中学校
埼玉県立工業技術高等学校
深谷市立藤沢小学校
深谷市立花園小学校

③教育機関・教育関連・公共施設等

学校法人尚美学園尚美学園大学
NPO 法人若者支援ひろば三愛
滝沢音楽教室
株式会社ピー・エス・インターナショナル
一般社団法人飯能市学童クラブの会
学校法人玉名白梅学園玉名女子高等学校

④映像・音楽・エンタメ・ポスプロ・舞台・マスコミ関連

株式会社三和映材社
株式会社ザ・チューブ
株式会社エフイーティーブイ
四季株式会社「劇団四季」
株式会社トラストネットワーク
株式会社昭栄美術
株式会社パシフィックアートセンター
ジャパンステージアート
株式会社インスタック・アーティスト
河口湖ステラシアター
株式会社テイチクエンタテインメント
株式会社フラワーコミュニティ放送
株式会社ラムゼス
株式会社芸映
Nack5 (FM ラジオ局)
株式会社テレビ埼玉 (株式会社ユーネット)
ASOBISYSTEM 株式会社
株式会社エクストアドメディア
株式会社ノア (サウンドスタジオノア)
株式会社 Oosawa
株式会社劇団東俳
株式会社 DN2
株式会社東芸エンタテインメント
株式会社球舞
株式会社サムライ・ロック・オーケストラ

⑤スポーツ関連

株式会社スイート・ピア
株式会社 M-1 スポーツメディア
M&S ダンススタジオ
株式会社東洋ホリデイスポーツクラブ
株式会社 LAVA International
株式会社 ZEN PLACE
笑舞 CHEER&DANCE STUDIO
株式会社メディロム
リーフラス株式会社
株式会社ジャクパ
株式会社 Gravis
笑舞 CHEER&DANCE STUDIO
株式会社 Birth47
和泉テクノ FC (サッカーチーム)
スポーツコミュニティ株式会社
スポーツクラブ NAS 株式会社
株式会社ヴァンラーレ八戸 (Jリーグ)

⑦その他

株式会社 SIG
株式会社総合システムプロダクツ
株式会社カインズ
株式会社ワールドインテック
パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
日研トータルソーシング株式会社

日本交通株式会社
株式会社アウトソーシングテクノロジー
株式会社ダイエー
共同エンジニアリング株式会社
株式会社ジズホールディングス
株式会社共立メンテナンス
株式会社石森管楽器
ジャパンエレベーターサービス城西株式会社
東洋証券株式会社
EGGS'N THINGS JAPAN 株式会社
島村楽器株式会社
アディーレ法律事務所
株式会社ライセンスアカデミー
株式会社日産サテオ埼玉
株式会社ベネッセスタイルケア
株式会社ビッグモーター
株式会社東宝国際
日本郵便株式会社
株式会社スクールパートナー
大東建託株式会社
医療法人社団優善会
セントラル警備保障株式会社
株式会社西友
松屋株式会社
株式会社アデランス
株式会社ファイブイズホーム
株式会社明和地所
さくら損害保険株式会社
株式会社メガネフラワー
株式会社エイジェックグループ
株式会社日立ビルシステム
総合警備保障株式会社
株式会社ジーネクスト
日本通運株式会社
JA 梨北
一般財団法人博慈会
東建コーポレーション株式会社
埼玉トヨタ自動車株式会社
株式会社日本通信サービス
セントラル警備保障株式会社
株式会社 meleap

3. 当年度の予算執行の概要

(1) 広報・学生募集

(2) 教育課程編成・実施

- ①教育の質向上を目的とした学生による授業評価の実施
- ②組織的な退学者防止対策の強化
- ③授業アンケートや学生アンケートの実施
- ④Webサービス機能の充実、情報管理、分析及び利用

(3) 卒業認定・学位授与の方針及び方策

- ①低学年（1，2年次）向けキャリア教育の実施
- ②「キャリア教育科目」の策定及び実施
- ③企業との関係性強化と新規開拓の継続と拡大

(4) 研究・研修

- ①教職員の資質の維持向上に向け、研修等を組織的に実施
- ②危機管理・防止対策等、意識の向上のための取組
- ③IR(Institutional Research)による分析強化の検討

(5) 教育環境の整備・充実

- ①施設関係改修工事
LAN工事、W234工事
- ②教育機器の更新、修理による適切な教育環境の確保
OCナビアプリ、電話交換機更新工事
- ③ネットワーク環境、コンピュータ学習環境の維持、充実
ネットワーク機器、アプリケーションライセンス、ネットワーク及びPC環境保守、
コンピュータウィルス対策 他
- ④維持管理
電気、水道、ガス、スクールバス、清掃委託、消耗品 他

Ⅲ 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告

1. 当年度の事業の概要

(1) 教育方針と教育実践活動

本学では、学生の夢の実現にむけパーソナル教育、実践教育、コラボレーション教育の「3つの教育ポリシー」と、それを推進するための具体的な取り組みである「6つの教育推進目標」を掲げ、ひとり一人を社会に繋げる教育を行うため学科毎に様々なシステムを有し教育運営を行っている。

2年に渡り続くコロナ禍の教育への対応は、新型株出現の度にその特性にあわせた対応に窮迫し、特に年度末にその傾向となり各科の教育系催事については非公開化などの制限を設け安全の確保と教育の均衡に腐心したが、当初からゆとりを設けた学事スケジュールの設定やコロナ対応で獲得した教育手法を以て臨機に教育を行い、年度末までに必要な教育を終えることができた。しかしながら年明けまでは順調な教育を展開できたため、年度末直前からの新型株の影響は教育成果の確認においては不完全燃焼として学生の満足度に少なくとも影響があったと言わざるを得ない。今後の教育活動も学びの場の安全確保を積極的に行い教育への影響を最小限に抑えるよう努めつつも、不測の事態でも教育を完遂できるよう対応していく。今年度はワクチン接種についても学校としてそれを推奨することとし、接種希望者への情報提供を学生に限らず行い制度を整え、また大学での拠点接種の機会など積極的に案内をした。

現在取り組んでいる学校運営の改革においては、運営の効率化、人件費比率の改善と計画的な組織人事、募集の強靭化を、全学あげて運営の基軸として行っている。今年度はさらに今後の学校を取り巻く教育環境の変化への対応として、令和5年問題、教育改革(新学習指導要領)世代への対応など、現在すすめている学校の可視化とあわせて教育改革への準備をすすめ教職員と具体的な検討を始める年とした。また「高等教育の修学支援新制度」の確認校の継続のためにも、コロナ禍で影響のあった分野では出口の確保が今後の安心材料に必須となるので、就業・就職指導について力を入れ昨年度並みの成果をあげることが出来た。(就職希望者就職率 92.6% 5月16日現在)

(2) 教育環境の整備

- ①新型コロナウイルス感染症感染予防(非接触など)への対応を行った。
光触媒抗菌コート剤の再塗布、本館玄関の自動扉化、洗浄便座化、空気清浄機の追加など
- ②教育及び業務でのDX化に対応した。
オンライン会議室・オンライン面接室の整備、業務のワークフロー化など
- ③消防設備の更新を行った。
- ④教室パソコン及びソフトの更新を行った。
- ⑤授業・レッスン・練習用の楽器類の更新を行った。

(3) 学生募集状況

2021年4月の入学者状況については、コロナ禍1年目の影響が分野への不安と重なり音楽系やパフォーマンス系学科の入学者は良好であった前年度の上昇率と同じ数字の17%程度下回り、総定員をかるうじて上回る程度となった。一方就職系部門はアフターコロナを見据えた動きから堅調で昨年度並みの入学者を確保できた。学校制在籍者の総計は、前年度比-11名となった。募集運営に関しては、高校側でのガイダンスや相談会の受け入れ態勢が定まらず、また本学オープンキャンパスの運営についても受験者に対象を絞って開催せざるを得ず、また年度当初数回の開催予定は本学の休校期間のため実施を見合わせ、再開しても安全優先のため実技体験などが行えなかったため、来校をして学校と分野の理解を深める本学の募集施策としては効果面で厳しい運営を強いられた。追加の施策としてはAOエントリー期間の延長など高校の進路指導の動きに合わせた対策を行ったが、成果の露出など普段行っている入学希望者と募集機会のマッチングを行うことも叶わず厳しい運営の年度であった。

対応施策

- ・オープンキャンパス参加者はコロナ禍の影響で見学校の数が少なくなる傾向のため、本学への参加の機会を逃さず丁寧な対応とフォローをして出願に結び付けた。
- ・オンラインOCを追加で実施した。

- ・名簿を獲得して告知を広めた。
- ・AO入学制度による早期の入学者確保を行った。
- ・AO入学エントリーを2か月延長し高校の指導状況に合わせエントリー者数を確保した。
- ・特待生制度を入学希望者の学びの向上と連動する募集制度とした。
- ・オープンキャンパスへの地方参加者に交通費補助を行い募集対策として効果を上げた。
- ・ほか

2. 学生諸活動報告<2021年度実績>

(1) コンクール、オーディションなどへの入賞者・合格者、事務所所属など抜粋

ヴォーカル、ジャズ・ポピュラー、プロミュージシャン

(ヴォーカル学科/VO、ジャズ・ポピュラー学科/JP、プロミュージシャン学科/PM)

学科	学年	専攻	氏名	コンクール・オーディション・検定名	結果	主催
VO	2	VO	齊藤 花耶	「THE カラオケ★バトル」～今、絶対に聴いておくべき！ネクス ストブレイクシンガーSP～(2021年4月)出演	出演	テレビ東京
				「THE カラオケ★バトル」～最強女子ボーカリストカップ～出 演(2021年5月)	出演	テレビ東京
				2022/1/26メジャーデビュー	デビュー	株式会社太田プロダクション所属
				「THE カラオケ★バトル」～最強女子ボーカリストカップ～ (2022年4月) 出演	出演	テレビ東京
				2022年4月2日(土)～レギュラー放送 【花耶の耳たぶ】 毎週土曜 5:20～5:30	出演	FM - Nack5
JP	2	Ds	武部玲央	パソナ音楽島	合格	株式会社パソナ HR HUB
JP	2	Bass	藤井裕豪	「チョーキューメイ」	デビュー	ユニバーサルミュージック
PM	2	SSW	スィーヤウォン麗	「チョーキューメイ」	MBSTV『あせと せっけん』主題歌	ユニバーサルミュージック

アレンジ・作曲

(アレンジ・作曲学科/AC、音楽総合アカデミー学科アレンジ作曲コース/AcaCO)

学科	学年	専攻	氏名	コンクール・オーディション・検定名	結果	主催
AC	2	ソングライティング	石川芽衣	作家オーディション	オーディション合格	株式会社CoreCreative
AC	2	ソングライティング	岩崎芽衣	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AC	2	ソングライティング	大杉友哉	作家オーディション	オーディション合格	株式会社CoreCreative
AC	2	ソングライティング	大瀬有優香	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AC	2	ソングライティング	渡口宗一郎	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AC	2	ソングライティング	林 佑奈	作家オーディション	オーディション合格	株式会社CoreCreative
AC	2	ソングライティング	柳沼 廉	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AC	2	ソングライティング	宮城秀俊	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AC	2	映像音楽	畔上芽久	一般オーディション	オーディション合格	crossing music
AC	2	映像音楽	奥村千夏	作家オーディション	オーディション合格	株式会社hotarubi
AcaCO	4	CO	小金井拓実	作家オーディション	所属	株式会社スマイルデイズ
AcaCO	4	CO	崔ハンソル	作家オーディション	所属	株式会社カップエンターテインメント

管弦打楽器

(管弦打楽器学科／WO、音楽総合アカデミー学科管弦打楽器コース／AcaWo)

学科	学年	専攻	氏名	コンクール・オーディション・検定名	結果	主催
WO	1	Fl	立花春枝	第31回 クラシック音楽コンクール 予選	予選通過	日本クラシック音楽協会
WO	1	Tb	神崎まひろ	K国際コンクール	奨励賞	K国際コンクール
WO	1	Tb	小坂雄生	第31回 クラシック音楽コンクール 本選	予選通過	日本クラシック音楽協会
WO	1	Per	高橋直人	第31回 クラシック音楽コンクール 本選	予選通過	日本クラシック音楽協会
WO	2	Sax	坂本佳穂	第31回 クラシック音楽コンクール 本選	予選通過	日本クラシック音楽協会
WO	2	Hr	松永ゆさな	第31回 クラシック音楽コンクール 本選	予選通過	日本クラシック音楽協会
WO	2	Hr	松永ゆさな	K国際コンクール	奨励賞	K国際コンクール
AcaWO	3	Fl	佐藤柚花	第42回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 予選	予選通過	東京国際芸術協会
AcaWO	3	Sax	吉川優花	ナゴヤサクソフォンコンクール	予選通過	ナゴヤサクソフォンコンクール運営委員会
AcaWO	4	Fl	古澤奈々	第31回 クラシック音楽コンクール 予選	予選通過	日本クラシック音楽協会
AcaWO	4	Sax	高橋奈々子	第27回 東村山フレッシュコンサートオーディション	合格	東村山市・東村山市教育委員会
AcaWO	4	Hr	滝澤明日菜	第31回 クラシック音楽コンクール 本選	4位 (最高位)	日本クラシック音楽協会
AcaWO	4	Hr	佐藤唯衣	2021年度 小澤征爾音楽塾オーケストラオーディション	合格	ペローザ ジャパン
AcaWO	4	Euph	長谷川寛太	36th Annual Leonard Falcone International Euphonium and Tuba Festival	セミファイナリスト	International Tuba Euphonium Association

パフォーマンス

(ミュージカル学科/MU ダンス学科/DA、声優学科/VA)

学科	学年	氏名	コンクール・オーディション・検定名	結果	主催
MU	2	石塚結生	劇団イツフォーリーズ	合格	劇団イツフォーリーズ
MU	2	菊地美結	ぶろだくしょんバオバブ	合格	ぶろだくしょんバオバブ
MU	2	後藤 宙	株式会社アクセント養成所シャイン	合格	株式会社アクセント養成所シャイン
MU	2	小沼杏衣莉	劇団スーパーエキセントリックシアター	合格	劇団スーパーエキセントリックシアター
MU	2	芹澤拓真	ミュージカル座	合格	ミュージカル座
MU	2	佐藤凜音	サンリオビューロランド	合格	サンリオビューロランド
MU	2	須賀美紀	サンリオビューロランド	合格	サンリオビューロランド
DA	2	池上玲於奈	横浜アンパンマンこどもミュージアムエンターテインメントスタッフ	合格	横浜アンパンマンこどもミュージアム
DA	2	河南花音	スズキ・ソリオTV-CM「アミューズメントパーク」篇	合格	スズキ
DA	2	東方杏純	映画「ガリレオ」シリーズ第三弾「沈黙のパレード」	合格	東宝映画
DA	2	佐藤美咲	映画「二十歳のソウル」	出演	日活
DA	2	大久保鈴花	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
DA	2	河南花音	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
DA	2	小林歩友花	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
DA	2	田島悠華	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
DA	2	東方杏純	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
DA	2	穂積希咲	ZEROクリエーション登録ダンサーオーディション	合格	(株)ZEROクリエーション
VA	2	大窪花音	劇団昴	合格	劇団昴
VA	2	大須賀博人	プロダクションエース演技研究所	合格	学内オーディション
VA	2	岸本大毅	俳協演劇研究所	合格	学内オーディション
VA	2	黒澤めぐみ	E-spring付属養成所	合格	学内オーディション
VA	2	小林勇斗	養成所アンド	合格	学内オーディション
VA	2	齋藤野亜	三木プロダクション	合格	学内オーディション
VA	2	坂本美空	養成所アンド	合格	学内オーディション
VA	2	鈴木安奈	EARLY WING	準所属	学内オーディション
VA	2	田畑美憂	E-spring付属養成所	合格	学内オーディション
VA	2	野口 翼	スターダス・21Neu声優・タレント養成所	合格	学内オーディション
VA	2	蛭川翔太	JTB Next Creation	合格	学内オーディション
VA	2	三浦琴音	プロダクションエース演技研究所	合格	学内オーディション
VA	2	光吉照哲	エコー俳優声優アカデミー	合格	学内オーディション
VA	2	山本啓人	プロダクションエース演技研究所	合格	学内オーディション
VA	2	浅見詩苑	青二塾	合格	青二プロダクション
VA	2	岡田優菜	青二塾	合格	学内オーディション
VA	2	尾崎潤也	J.ボイスタレント・プロフェッショナルスクール	合格	学内オーディション
VA	2	片柳爾扇	松竹芸能	所属	松竹芸能
			女芸人No.1決定戦	2回戦進出	松竹芸能
			アメザリノライブ	アシスタント	松竹芸能
			まぜまぜLIVE	出演	松竹芸能
			夏の角座感謝祭	出演	松竹芸能
			WG POKER JAPAN	出演	松竹芸能
			総勢40組以上のお祭り!!SHOCHIKUネタフェス!on line	出演	松竹芸能
			KIBAっていこう	出演	松竹芸能
VA	2	川又大樹	アクセント附属養成所シャイン	合格	学内オーディション
VA	2	久保田温己	C&Oアクターズスタジオ	合格	学内オーディション
VA	2	乗名千尋	EARLY WING	準所属	学内オーディション
VA	2	佐藤友紀	ぶろだくしょんバオバブ附属養成所B・A・O	合格	学内オーディション
VA	2	諷岐洸一	マウスプロモーション附属養成所	合格	学内オーディション
VA	2	関根百花	俳協ボイス	合格	学内オーディション
VA	2	對馬来人	俳協ボイス	合格	学内オーディション
VA	2	福山美樹菜	エコー俳優声優アカデミー	合格	学内オーディション
VA	2	村田菜々美	バラ色ランチ	パーソナリティ	ふくろうFM
			千葉県CM	ナレーター	ふくろうFM
			J.ボイスタレント・プロフェッショナルスクール	合格	学内オーディション

(2) 就職先企業抜粋 (ミュージックビジネス学科 音響・映像・照明学科) 複数合格者割愛

業種	企業名	業種	企業名
イベント運営	株式会社 ライブパワー	テレビ番組制作	株式会社 イルージョン
イベント運営	株式会社 チームアクティブ	テレビ番組制作	株式会社 J.O.P
イベント映像制作	株式会社 シーマ	番組制作	千代田ビデオ
イベント企画運営	株式会社 スペシャリスト	番組制作	株式会社 富士巧芸社
イベント企画運営	株式会社 東芸エンタテインメント	番組制作	株式会社 ホンダプロジェクト
イベント企画制作	Rootz株式会社	番組制作	東京電設工業株式会社
イベント企画制作	電音エンジニアリング株式会社	番組制作	株式会社 富士工芸社
イベント企画制作	株式会社 T&C	ファンクラブ運営	株式会社アップフロントグループ
イベント企画制作	Axiduc Audio	ファンクラブ運営	株式会社 ボニーキャニオン
音響・映像・照明	株式会社 共立	ファンクラブ運営	DRC合同株式会社
映像制作	株式会社 センティアン	劇場	高崎芸術劇場
映像制作	NU-Film	舞台音響	劇団四季
映像制作	ヒビノメディアテクニカル株式会社	舞台管理・制作	株式会社 シグマコミュニケーションズ
映像制作	株式会社 ファーストハンド	舞台制作	株式会社 シミズオクト
音響	株式会社 日本エムエスアイ	舞台制作・音響・照明	株式会社 テイク
音響・照明	株式会社 東京三光	ブライダル	アエタス株式会社
音響・配信	株式会社 大城音響事務所	ブライダル	株式会社 フェム
ライブハウス	株式会社 ロフトプロジェクト	ブライダル	株式会社 ベストアンバーサリー
音響・音楽制作	株式会社 AZクリエイティブ	ブライダル映像	株式会社 アエタス
機材レンタル	株式会社 アークシステム	放送	株式会社 シグマコミュニケーションズ
機材レンタル	株式会社 アップルボックス	マネージメント	株式会社 ジ・ズー
機材レンタル	株式会社 レイ	映像制作	株式会社DIGITAL CREAM
チケット・物販	株式会社 ローソンエンタテインメント	マネージメント	東宝芸能株式会社
グッズ販売・コンテンツ制作	Rejet	マネージメント・イベント	株式会社 EKUBO
子供向け職業体験サービス	キッズニア東京	マネージメント・音楽制作	株式会社 hotarubi
照明	有限会社大庭照明研究所	ライブハウス	ABiC Entertainment Group
照明	ライティングビックワン株式会社	ライブハウス	duo MUSIC EXCHANGE
照明	株式会社 エンジニアライティング	ライブハウス	ライブハウス S・U・B TOKYO
マネージメント	ジェイピールーム株式会社	レンタルスタジオ	株式会社 スタジオディー・ツーワン
スタジオ	キング関口台スタジオ	映像制作	株式会社 アクトファースト
テーマパーク・ショー運営	株式会社 誠和企画	人材アウトソーシング	株式会社 デリ・アート

エンタテインメントプロデュース部門就職希望者就職率 97.7% (2022.5.16 現在) 昨年同時期 87.5%

(3) 学外催事出演実績 (各学科数件程度抜粋掲載)

学科	学年	催事名/番組名	主催	会場
ジャズ・ポピュラー学科・音楽総合アカデミー学科ジャズ・ポピュラーコース (JP/AcaJP)				
JP	1	山野三姉妹	ナベマサ	北習志野 CACION
JP	2	東京アイデンティティ Vol. 18	LoftX	LoftX
JP	2	池袋 lab 池袋リーグ 公開収録	池袋lab	池袋lab
JP	2	脱・お留守番宣言Vol1	渋谷eggman	渋谷eggman
AcaJP	3	赤髪Quartetto	赤髪REY	赤坂トナリテ
管弦打楽器学科・音楽総合アカデミー学科管弦打楽器コース (WO/AcaWO)				
WO	2	サクソフォンアンサンブル響雅音 第3回演奏会	サクソフォンアンサンブル響雅音	神奈川県民小ホール
AcaWO	3	クワチュール・ペーアカデミー	サクソフォン4重奏 クワチュール・ペー	一般財団法人 信州国際音楽村
AcaWO	3	音大生によるサクソフォン四重奏の夕べ	日本サクソフォン協会	管楽器専門店ダク コンサートスペース
AcaWO	4	屋下がりのガラコンサート	屋下がりのガラコンサート製作委員会	岩間市民プラザホール

出演等実績 2021年度 550件 2020年度 250件

(略記、ジャズ・ポピュラー学科/JP、音楽総合アカデミー学科ジャズ・ポピュラーコース/AcaJP、プロミュージシャン学科/PM、ヴォーカル学科/VO、音楽総合アカデミー学科電子オルガンコース/AcaEO、ミュージックビジネス学科/MB)

3. 当年度の予算執行の概要

(1) 教育の向上

- ①各学科が、育成する人物像をより明確にし、カリキュラム、科目、教員を見直し、外部から見ても分かりやすく、魅力ある学科内容の構築を推進した。
- ②卒業後の就職・専門活動を見据え、専門教育の他にも社会に求められる教育を行い、就職率の向上を図った。
- ③音楽・パフォーマンス・エンタテインメントプロデュースの各分野でオピニオンリーダーとして名高い方を特別講師として委嘱し、授業、レッスン、特別講座を実施して、最先端の知識、スキル、情報の習得を図った。
- ④各学科の優秀者に対して指導を行い、オーディション合格・デビューの促進を図った。
- ⑤学科、学生の教育成果を公演、演奏会、イベント、イベント制作、メディア制作等にて学外、学内に広く発表、発信した。全学科の年間合計イベント数は83本。発表、発信で得た評価を更なる教育の質の改善に反映させている。
- ⑥本学の教育組織であるデビューセンターを活用して学内オーディションの実施と優秀者のメジャーデビュープロデュースを行った。
 - ・「S-1」オーディションを1回実施した。
 - 「動画最多再生回数賞」(WEB上で一般投票数による審査)
受賞者：Maringo「MYセカイカン」(PM1年 荒木鞠那)
 - 「尚美音楽出版賞」(各学科12名の講師審査員による投票)
受賞者：E. C. H. O.「Drink off」(PM2年 張叡・相川かすみ)
 - 「学科間コラボ賞」(各学科12名の講師審査員による投票)
受賞者：apricot apple「ピースとカーテン」
(AC2年 奥村千夏 VO2年 前田恵梨沙)
- ⑦各学科の分野の業界オーディションを随時行った。

(2) 学生支援

- ①奨学金(特待入学奨学生、AO入学奨学生、社会人入学奨学生、留学生支援奨学生、留学生入学奨学生、留学生指定校推薦入学奨学生、日本語学習奨学生、同窓生紹介入学奨学生、特待進級奨学生、勉学奨励進級奨学生)
- ②資料室整備、ナクソスミュージックライブラリー運営費
- ③キャリアセンターの社会資格・就業支援プログラム講座等の運営
- ④国際交流センター運営(留学生のフォロー)
- ⑤企業合同説明会を開催し、早い時期の就職の意識づけ、就職活動につなげた。

(3) 教育環境の整備・充実

- ①施設整備
 - ア. 自動ドア設置工事
- ②教育機器
 - ア. 基幹システム(学務系)更新
 - イ. PC教室: PC及びソフト更新
- ③ネットワークシステムの維持、整備
 - サーバホスティング、インターネットサービス、サーバ保守、基幹ネットワーク保守、LAN運用保守、教室PCメンテナンス、コンピュータウイルス対策、教職員PC更新、ソフトウェアライセンス契約 他
- ④管理維持
 - 電気、水道、ガス、施設保守、清掃委託、運搬、教育用・事務用・防疫消耗品 等

(4) 広報・学生募集

IV 財務の状況

1. 決算の概要

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動およびその活動に付随する、すべての収入・支出の内容ならびに当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

企業会計でいう「キャッシュ・フロー計算書」に当たりますが、当該年度の活動のすべてを明らかにするため、期末未収入金、期末未払金、前期末前受金及び前期末前払金の4つの調整勘定を用いて調整計算を行っています。

[収入の部]

科 目	内 容
学生生徒等納付金収入	入学金、授業料、教育充実費 など
手数料収入	入学検定料、試験料、証明手数料 など
寄付金収入	金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入にならないもの
補助金収入	国または地方公共団体からの助成金
資産売却収入	固定資産の売却収入
付随事業・収益事業収入	教材収入、講習会収入、受託事業収入 など
受取利息・配当金収入	預貯金の利息、証券投資信託の収益の分配金及び株式の配当金
雑収入	施設等の使用料、退職金財団交付金、過年度修正収入 など
前受金収入	翌年度入学生の授業料など、翌年度の収入となるもの
その他の収入	前期の未収入金収入、預り金、仮受金 など
資金収入調整勘定	期末未収入金（当期活動の未収分）、前期末前受金（当期活動の前期入金分）

[支出の部]

科 目	内 容
人件費支出	専任教職員、非常勤教員等に支給する給与・賞与、アルバイト料、退職金 など
教育研究経費支出	学生生徒等の教育指導に係る経費、教員の研究活動に係る経費
管理経費支出	教育研究経費以外の経費
借入金等利息・返済支出	日本私立大学振興・共済事業団、市中銀行からの借入金に対する利息及び返済額
施設関係支出	土地、建物（電気・給排水・空調等の附属設備含む）、構築物、建設仮勘定 など
設備関係支出	機器備品、図書、車両、ソフトウェア など
資産運用支出	有価証券の購入支出、特定資産への繰入支出
その他の支出	前期の未払金支払、前払金 など
資金支出調整勘定	期末未払金（当期活動の未払分）、前期末前払金（当期活動の前期支払分）

資金収支計算書

令和 3 年 4 月 1 日から
令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,750,000,000	5,786,858,690	△36,858,690
手数料収入	57,700,000	52,654,100	5,045,900
寄付金収入	72,800,000	79,784,133	△6,984,133
補助金収入	401,000,000	447,669,566	△46,669,566
国庫補助金収入	302,700,000	342,312,300	△39,612,300
東京都私学財団補助金収入	8,000,000	8,417,000	△417,000
東京都補助金収入	90,000,000	90,839,266	△839,266
埼玉県補助金収入	300,000	6,101,000	△5,801,000
資産売却収入	338,298,990	338,298,990	0
付随事業・収益事業収入	1,500,000	1,919,884	△419,884
受取利息・配当金収入	4,300,000	27,265,768	△22,965,768
雑収入	69,700,000	135,908,685	△66,208,685
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	4,300,000,000	4,391,771,896	△91,771,896
その他の収入	141,827,412	142,938,052	△1,110,640
資金収入調整勘定	△4,370,902,359	△4,376,207,390	5,305,031
前年度繰越支払資金	6,389,665,868	6,389,665,868	
収入の部合計	13,155,889,911	13,418,528,242	△262,638,331

主な科目は、学生生徒等納付金収入 5,786,858 千円、日本私立学校振興・共済事業団等による国庫補助金収入 342,312 千円です。

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,856,300,000	2,453,567,303	402,732,697
教育研究経費支出	1,801,500,000	1,601,014,650	200,485,350
管理経費支出	811,000,000	746,048,394	64,951,606
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	320,000,000	255,549,504	64,450,496
設備関係支出	150,000,000	100,143,447	49,856,553
資産運用支出	1,254,571,140	1,254,571,140	0
その他の支出	348,306,359	351,263,207	△2,956,848
【予備費】	0		0
資金支出調整勘定	△597,769,145	△620,618,040	22,848,895
翌年度繰越支払資金	6,211,981,557	7,276,988,637	△1,065,007,080
支出の部合計	13,155,889,911	13,418,528,242	△262,638,331

主な科目は、人件費支出 2,453,567 千円、教育研究経費支出 1,601,014 千円、管理経費支出（教育研究の間接的な経費または教育研究活動に直接関係しない経費）746,048 千円です。

(2) 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の内容を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の3つに区分して資金の流れを表しています。

(単位：円)

科 目		当 年 度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	6,470,000,058
	教育活動資金支出計	4,800,630,347
	差引	1,669,369,711
	調整勘定等	317,248,759
	教育活動資金収支差額	1,986,618,470
施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	35,610,000
	施設整備等活動資金支出計	813,192,951
	差引	△777,582,951
	調整勘定等	26,220,204
	施設整備等活動資金収支差額	△751,362,747
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		1,235,255,723
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	433,114,850
	その他の活動資金支出計	797,071,140
	差引	△363,956,290
	調整勘定等	16,023,336
	その他の活動資金収支差額	△347,932,954
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		887,322,769
前年度繰越支払資金		6,389,665,868
翌年度繰越支払資金		7,276,988,637

(3) 事業活動収支計算書

教育活動収支、教育活動外収支、特別収支と3つの活動ごとに収支のバランスを示し、経営状態を明らかにしたものです。

企業会計でいう「損益計算書」に当たり、資金の動きを伴わない「現物寄付」、「減価償却額」、「退職給与引当金繰入額」などを加えて収支計算を行います。資産や負債となるものは含まれません。

事業活動収入（収益）と事業活動支出（費用）の差額が、「損益計算書」の当期利益（損失）に当たり、「基本金組入前当年度収支差額」といいます。

企業会計と学校会計でもっとも異なる点は、「基本金」という概念です。学校法人は、基本金組入後の収支均衡を求められています。学校法人が教育研究活動を行なっていくためには、校地・校舎・機器備品・図書などの資産を持ち永続的に維持する必要があり、当該年度に資産の取得に充てた金額を組み入れる仕組みを第1号基本金といいます。他に将来計画のために組み入れる第2号基本金、運用果実を特定の事業目的に使用する第3号基本金、運営に必要な運転資金として計上する第4号基本金（文部科学大臣の定める額）があり、その額を控除したものを、当年度収支差額といえます。

事業活動収入

学校法人の負債とならない収入で、当年度の合計額は、6,578,111千円でした。

事業活動支出

学校法人が消費する費用の金額をいい、当年度の合計額は、5,383,601千円でした。

基本金

基本金とは、学校が諸活動を行うために必要な資産を継続的に保持するためのものです。

当年度の組入額は235,031千円でした。

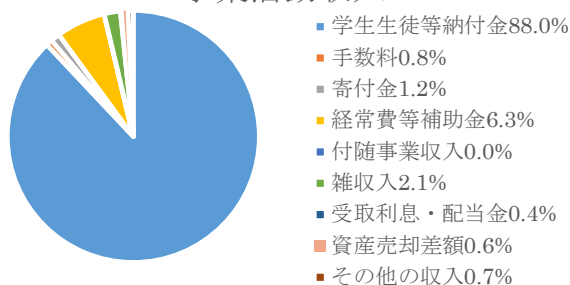
事業活動収支計算書

令和 3 年 4 月 1 日から
令和 4 年 3 月 31 日まで

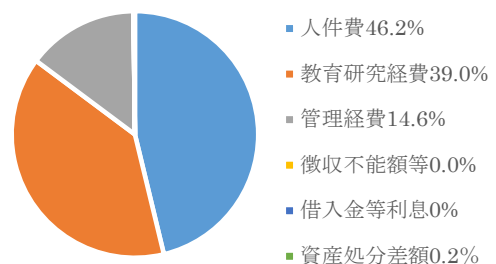
(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	5,750,000,000	5,786,858,690	△36,858,690
	手数料	57,700,000	52,654,100	5,045,900
	寄付金	70,300,000	77,284,133	△6,984,133
	経常費等補助金	369,122,000	415,374,566	△46,252,566
	国庫補助金	280,025,000	319,637,300	△39,612,300
	東京都補助金	88,797,000	89,636,266	△839,266
	埼玉県補助金	300,000	6,101,000	△5,801,000
	付随事業収入	1,500,000	1,919,884	△419,884
	雑収入	69,700,000	136,249,895	△66,549,895
	教育活動収入計	6,318,322,000	6,470,341,268	△152,019,268
	事業活動支出の部			
	人件費	2,903,300,000	2,488,556,429	414,743,571
	教育研究経費	2,481,500,000	2,098,412,030	383,087,970
管理経費	858,000,000	786,521,071	71,478,929	
徴収不能額等	6,000,000	490,000	5,510,000	
教育活動支出計	6,248,800,000	5,373,979,530	874,820,470	
教育活動収支差額	69,522,000	1,096,361,738	△1,026,839,738	
教育活動外収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	4,300,000	27,265,768	△22,965,768
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	4,300,000	27,265,768	△22,965,768
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	4,300,000	27,265,768	△22,965,768	
経常収支差額	73,822,000	1,123,627,506	△1,049,805,506	
特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	事業活動収入の部			
	資産売却差額	36,336,388	36,336,388	0
	その他の特別収入	38,378,000	44,168,109	△5,790,109
	特別収入計	74,714,388	80,504,497	△5,790,109
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	9,621,872	9,621,872	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	9,621,872	9,621,872	0
	特別収支差額	65,092,516	70,882,625	△5,790,109
【予備費】	[0]		0	
基本金組入前当年度収支差額	138,914,516	1,194,510,131	△1,055,595,615	
基本金組入額合計	△590,000,000	△235,031,119	△354,968,881	
当年度収支差額	△451,085,484	959,479,012	△1,410,564,496	
前年度繰越収支差額	△5,040,318,706	△5,040,318,706	0	
基本金取崩額	0	4,000,000	△4,000,000	
翌年度繰越収支差額	△5,491,404,190	△4,076,839,694	△1,414,564,496	
(参考)				
事業活動収入計	6,397,336,388	6,578,111,533	△180,775,145	
事業活動支出計	6,258,421,872	5,383,601,402	874,820,470	

事業活動収入



事業活動支出



(4) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における財政状態を表すものです。

ほぼ企業会計での「貸借対照表」と役割は同じですが、資本金の代わりに学校法人特有の「基本金」が表示されます。

当年度末における財政状態は資産 34,372,580 千円、負債 5,465,810 千円となりました。

貸借対照表

令和4年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	26,995,820,005	26,279,891,788	715,928,217
有形固定資産	22,988,639,671	23,171,065,542	△182,425,871
土地	9,591,949,055	9,591,949,055	0
建物	12,229,135,208	12,418,041,569	△188,906,361
その他の有形固定資産	1,167,555,408	1,161,074,918	6,480,490
特定資産	2,320,971,832	1,828,482,706	492,489,126
その他の固定資産	1,686,208,502	1,280,343,540	405,864,962
流動資産	7,376,760,516	6,691,666,763	685,093,753
現金預金	7,276,988,637	6,389,665,868	887,322,769
その他の流動資産	99,771,879	302,000,895	△202,229,016
資産の部合計	34,372,580,521	32,971,558,551	1,401,021,970
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	578,071,832	543,082,706	34,989,126
退職給与引当金	578,071,832	543,082,706	34,989,126
流動負債	4,887,739,029	4,716,216,316	171,522,713
前受金	4,391,771,896	4,313,902,359	77,869,537
その他の流動負債	495,967,133	402,313,957	93,653,176
負債の部合計	5,465,810,861	5,259,299,022	206,511,839
純 資 産 の 部			
基 本 金	32,983,609,354	32,752,578,235	231,031,119
第1号基本金	32,595,609,354	32,360,578,235	235,031,119
第4号基本金	388,000,000	392,000,000	△4,000,000
繰越収支差額	△4,076,839,694	△5,040,318,706	963,479,012
翌年度繰越収支差額	△4,076,839,694	△5,040,318,706	963,479,012
純資産の部合計	28,906,769,660	27,712,259,529	1,194,510,131
負債及び純資産の部合計	34,372,580,521	32,971,558,551	1,401,021,970

(5) 財産目録

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

I 資産総額	34,115,240,331 円
内 基本財産	22,988,639,671 円
運用財産	11,126,600,660 円
II 負債総額	5,466,234,824 円
III 正味財産	28,649,005,507 円

区 分	金 額
[資産額] 1. 基本財産	
土地	121,677.00 m ² 9,591,949,055 円
建物	55,664.80 m ² 12,229,135,208 円
構築物	87 件 87,516,841 円
図書	213,908 点 784,442,202 円
教具・校具・備品	3,686 点 295,596,360 円
車両	5 台 5 円
計	22,988,639,671 円
2. 運用財産	
現金預金	7,291,069,639 円
特定資産	2,320,971,832 円
未収入金	61,823,831 円
前払金	37,956,848 円
販売用品	56,581 円
電話加入権	2,774,245 円
保証金	3,000,000 円
有価証券	1,408,932,554 円
預託金	15,130 円
計	11,126,600,660 円
資 産 総 額	34,115,240,331 円
[負債額] 1. 固定負債	
退職給与引当金	578,071,832 円
計	578,071,832 円
2. 流動負債	
未払金	393,272,858 円
前受金	4,391,771,896 円
預り金	103,118,238 円
計	4,888,162,992 円
負 債 総 額	5,466,234,824 円
[差引正味財産]	28,649,005,507 円

(6) 監査報告書


監 査 報 告 書

学校法人 尚 美 学 園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

令和 4 年 5 月 19 日

学校法人 尚 美 学 園

監 事

竹田剛志 

監 事

後藤宏平 

私たちは、学校法人尚美学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書及び収益事業に係る貸借対照表、損益計算書）及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（文部省令第18号）に準拠しており、学校法人尚美学園の令和4年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、理事の業務執行状況に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。